

参 考 手 本

熱は心静に由りて散ず

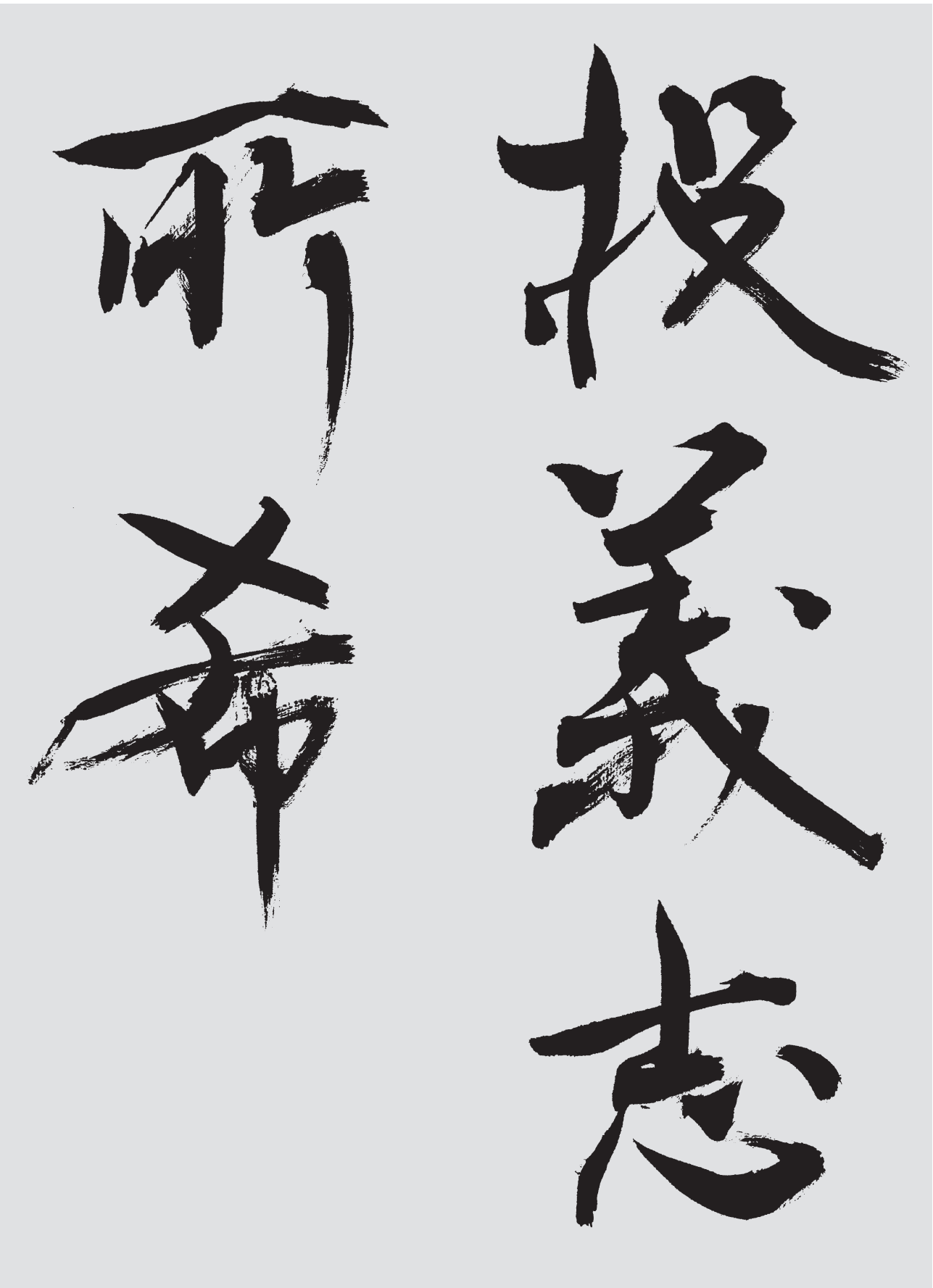
心 熱  
静 散  
由

成 瀬 映 山 先 生

※これは規定課題ではありません。

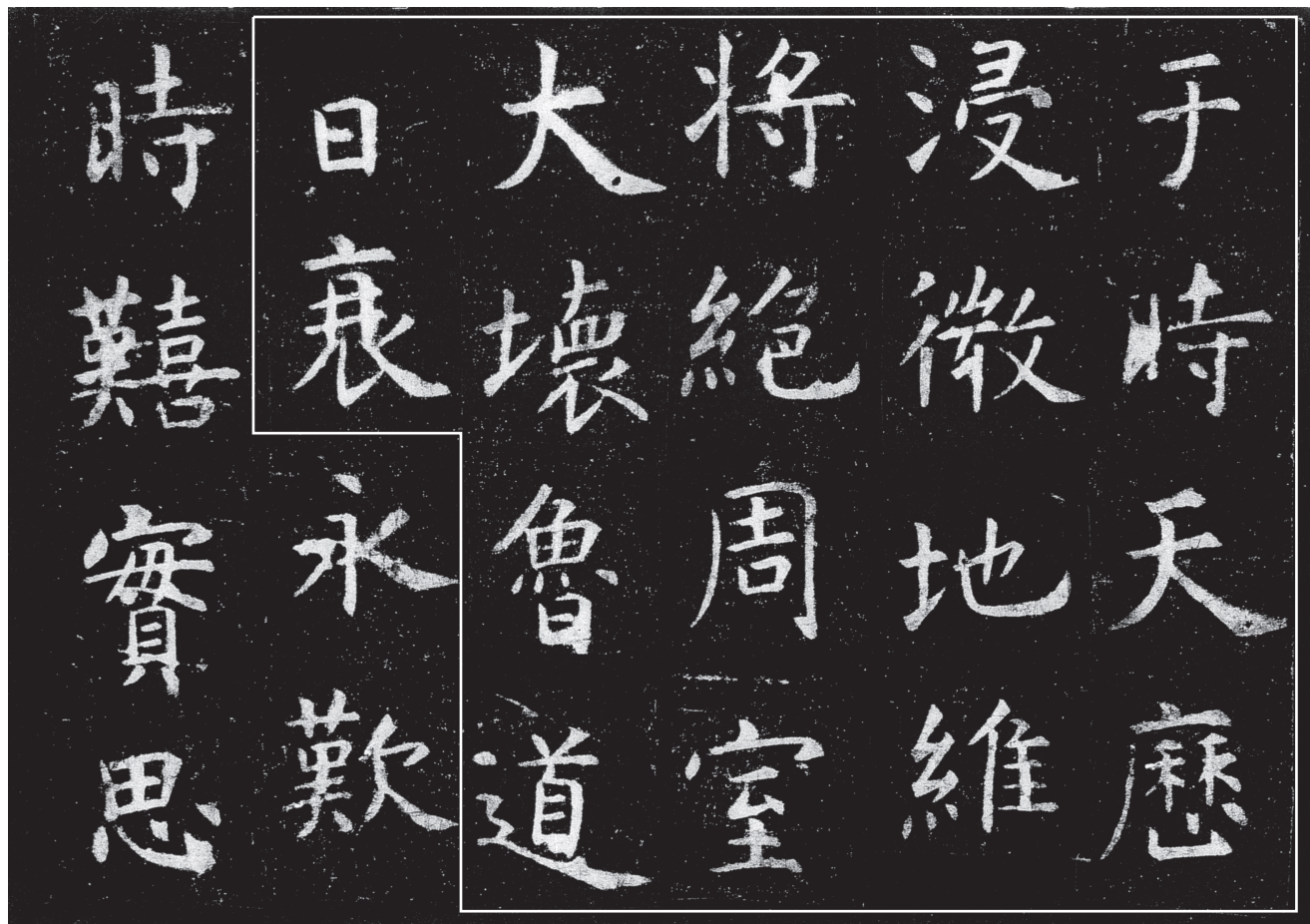
参 考 手 本

義に投ずる志の希う所



※これは規定課題ではありません。

高 木 聖 雨 先生



虞世南 (唐) 『孔子廟堂碑』 ①

于時天歷浸微。地維將絕。周室大壞。  
魯道日衰。永歎時艱。實思

時に天歴浸く微かにして、地維將に絶たれんとす。周室大いに壊れ、魯道日びに衰う。永く時艱を歎き、実に濡足を思う。

ところがこのころ、天の運行にはようやくかげりがみえ、地の支えもまさに絶たれ、世の乱れがあらわれようとしていた。周王室の保持してきた権威は大きく崩れ、魯の正道も日に日に衰えつつあった。孔子はこの時代の艱難を深く歎き、自ら足を濡らして歩きまわり、人心を救うことを心より願った。

【今月の課題】

「于時天歴浸微地維將絶周室大壞魯道日衰」(18字)

〔この課題を同月の条幅随意には出品出来ません〕

条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く  
段・級を記入してください

(6月10日締切)

条幅規定 ②

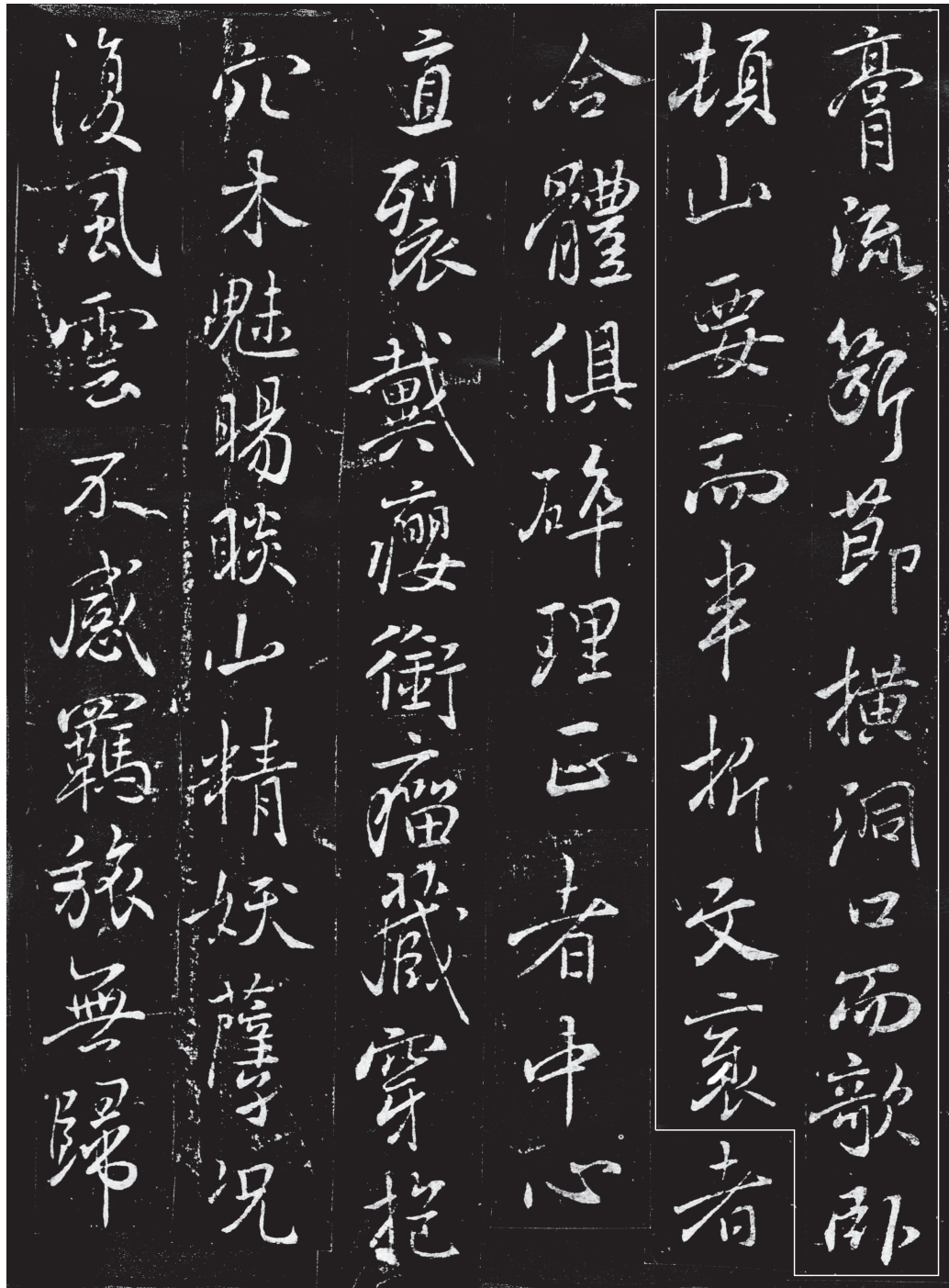
B部 (四段以下)

『枯樹賦』

楮遂良

(唐)

⑱



膏流斷節。横洞口而欹臥。  
頓山要而半折。文衮者合  
體俱碎。理正者中心直裂。  
戴癭銜瘤。藏穿抱穴。木  
魅暘睽。山精妖孽。况復  
風雲不感。羈旅無歸。

膏は断節に流る。洞口に横たわ  
りて欹に臥し、山腰に頓れて半  
折す。文の斜なるは合体俱に碎  
け、理の正しきは中心より直裂  
す。癭を戴き瘤を銜み、穿を藏  
し穴を抱く。木魅は暘睽し、山  
精は妖孽す。況んや復た風雲感  
ぜず、羈旅歸る無く、

【今月の課題】「膏流斷節横洞口而欹臥頓山要而半折文衮」（18字）

〔この課題を同月の条幅随意には出品出来ません〕

条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く段・綴を記入して下さい

(6月10日締切)

半紙規定 (二)

賞錫當功得

九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)

賞錫當功得

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

效穀の人なり。其の先は蓋し

半紙規定 (一)

人也其先蓋

曹全碑 (漢・作者不詳)

人也其先蓋

※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書

〔二級以下〕楷書

賞錫の功に当たり、礼の宜しきを得れば、

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕  
(6月10日締切)

条幅参考手本

古寺寂無僧 山深寒更雨 泉流暗竹中 似覺有人語  
流暗竹中似覺有人語

野口紫仙先生

古寺寂無僧 山深寒更雨 泉流暗竹中 似覺有人語

古寺寂として僧無し 山深く寒くして更に雨ふる 泉流暗竹の中 覺人語有るに似たり

田邊紅園先生

漢國山河在 秦陵草樹深 暮雲千里色 無處不傷心  
漢國山河在 秦陵草樹深 暮雲千里色 無處不傷心

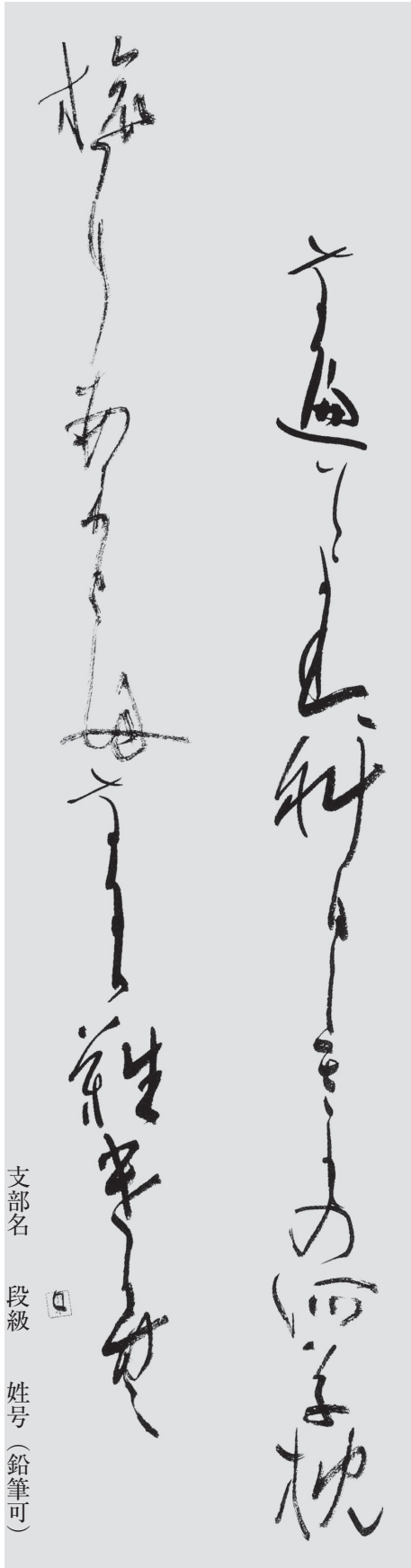
漢國山河在 秦陵草樹深 暮雲千里色 無處不傷心

漢國山河在り 秦陵草樹深し 暮雲千里の色 処として心を傷ましめざるは無し

条幅かな

条幅参考手本

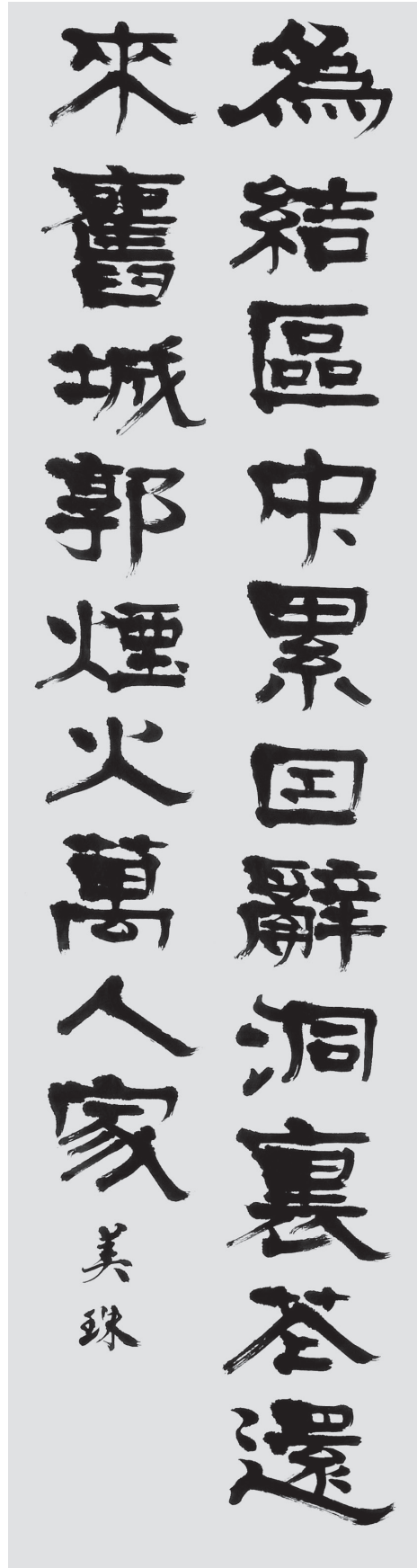
なべてよはさびしきものぞくさまくらたびにありともなにかなげかむ (会津八一) ※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左下部に添え書きして下さい。



支部名 段級 姓号 (鉛筆可)

浮 乗 清 郷 先 生

為結區中累 因辭洞裏花 還來舊城郭 煙火萬人家  
為に結ぶ区中の累 因つて辞す洞裏の花 還り来る城郭 煙火万人の家



渡 辺 美 珠 先 生

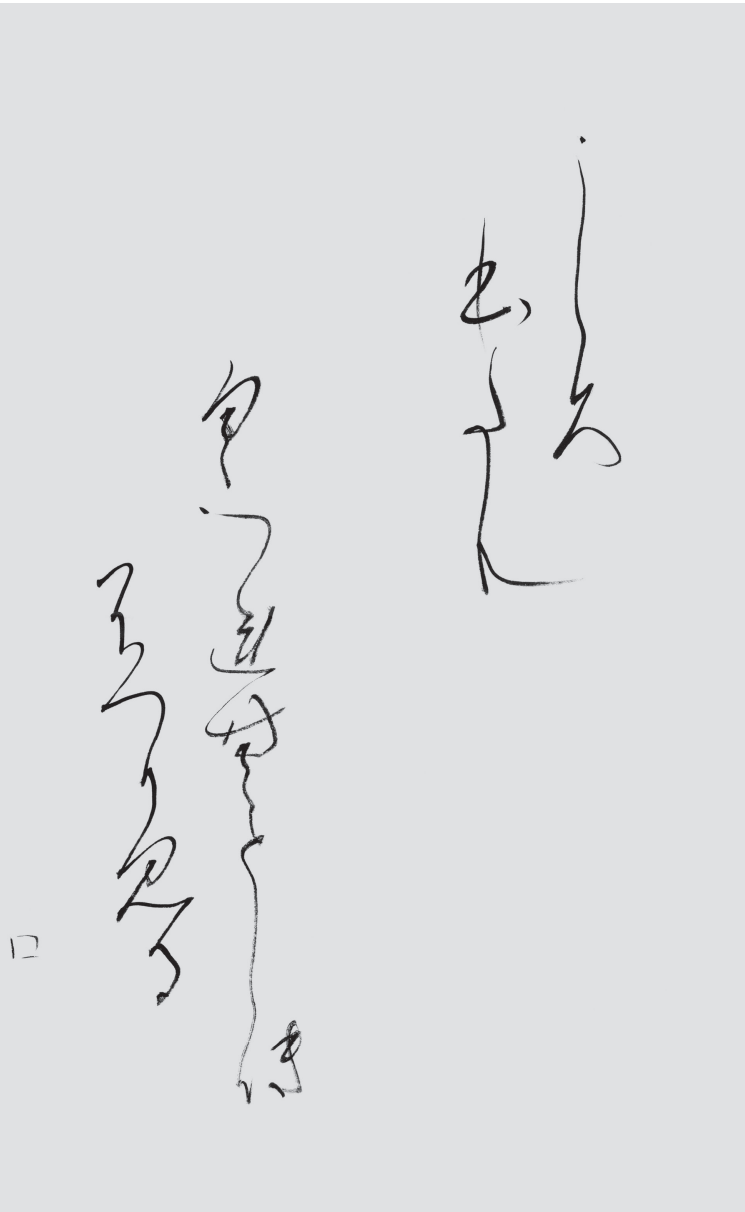
(6月10日締切)

半紙かな（1級以下）

白ぼたん崩れんとして二日見る（夏目成美）  
しろう  
本多无具連無  
傳不可

支部名  
 級  
 姓  
 号  
 号（鉛筆可）

※ちらし文字変換は自由



若 月 久美子 先生

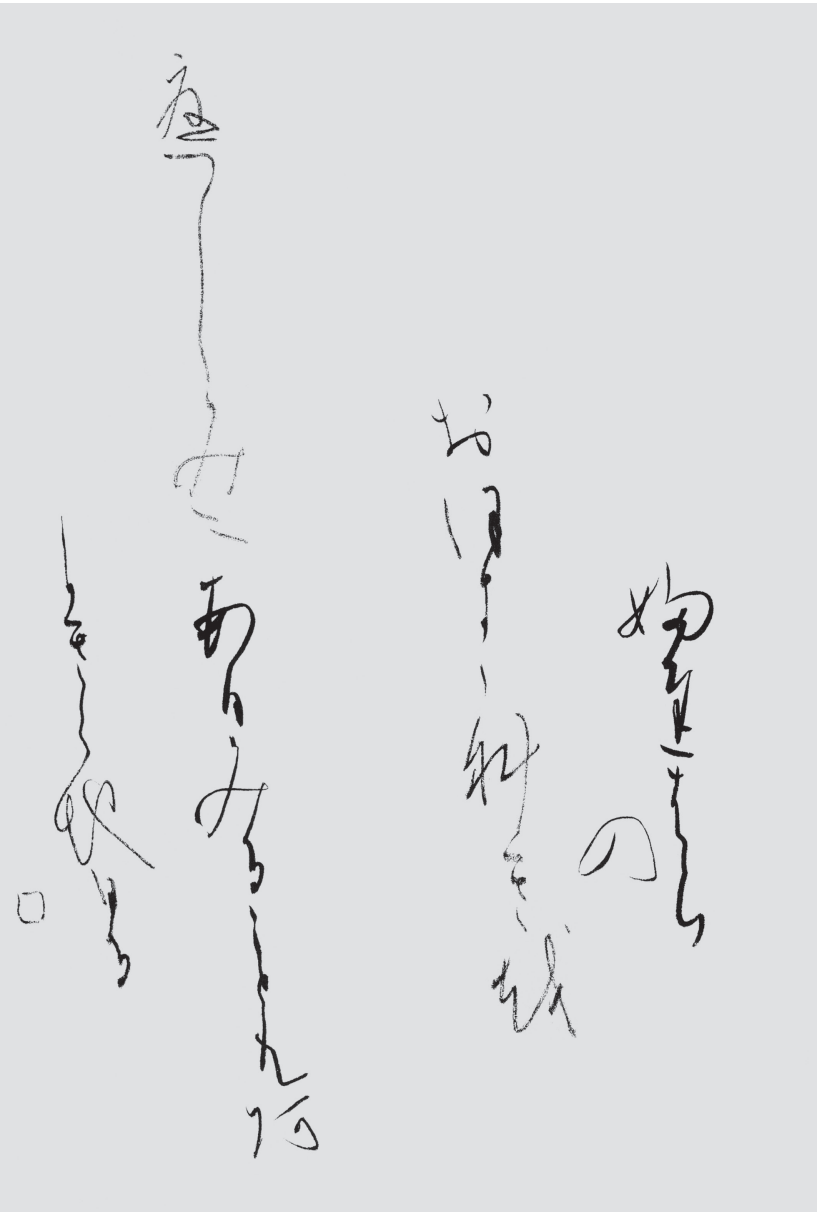
ふぢはらのおほきぎひきをうつしみにあひみるごとくあかきくちびる（会津八二）※ちらし文字変換は自由  
婦運者  
保支、斜  
越要  
二  
日  
九阿可  
地日

半紙かな（初段以上）

支部名  
 段  
 姓  
 号  
 号（鉛筆可）

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

（6月10日締切）



浮 乘 清 郷 先生



# 実 用 文

※準三段以上…行書を草書に変換は自由

〈書風任意〉

明治十三年楊守敬の来日と共に、多くの碑版法帖がもたらされ、巖谷一六や日下部鳴鶴等を中心に六朝風の書が流行した。  
支那名 段級 姓号

朝 平 霞 山 先 生

(6月10日締切)

細 字

	町	街	混	賑	産	業	隆	盛
	町	街	混	賑	産	業	隆	盛
	町	街	混	賑	産	業	隆	盛
	町	街	混	賑	産	業	隆	盛

支 部

段 級

姓

号

(名前は必ず楷書で書くこと)

※一級〜八級は草書まで。 初段以上は隷書まで。

※名前は楷書以外では違反になります。

17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

混 町

賑 街

にぎやかなこと。 まち。

(6月10日締切)

硬筆（1級以下）

2行、楷書

献血は、健康な人が無償で血液を  
 提供するボランティアです。  
 支部 級 姓 号

齊藤 翡翠流 先生

硬筆（初段以上）

3行、行草書

…川邊…真っ白い…卯の花…。

野山や川邊、垣根などで真っ白い  
 小花をたくせんつける卯木の花は  
 神の花とも呼ばれている。  
 支部 級 姓 号

青柳 江雲 先生

※本院定型用紙・たて半分に書く

（6月10日締切）

中2用

校名  
 旅行 楽しい  
 名前  
 前

渡邊南嶂先生

中3用

校名  
 風景 四季の  
 名前  
 前

大越三宗先生

小6用

校名  
 の日  
 名前  
 城本

渡邊南嶂先生

中1用

校名  
 便り 季節の  
 名前  
 前

渡邊南嶂先生

小4用



校名

名前

大越三宗先生

小5用

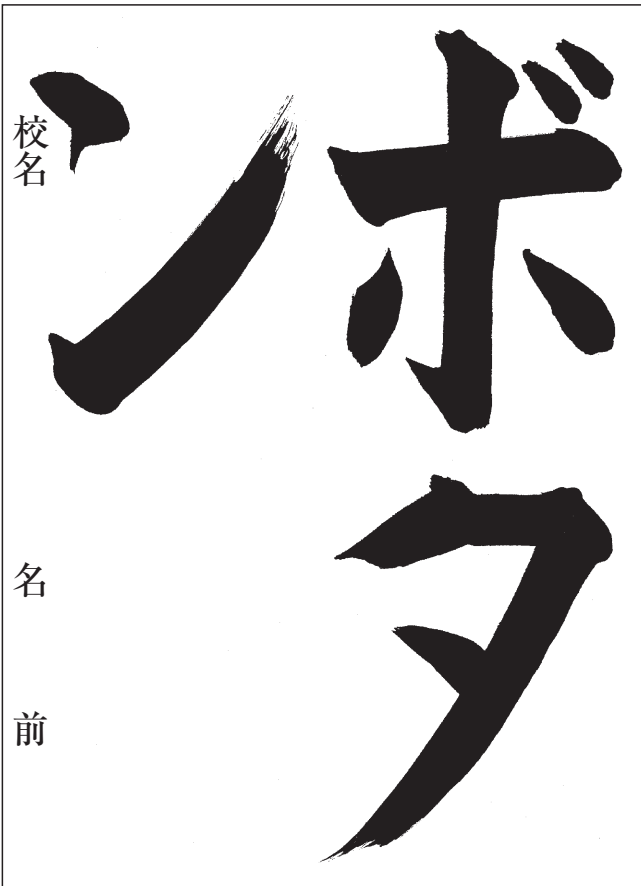


校名

名前

大越三宗先生

小2用



校名

名前

鈴木翡翠先生

小3用



校名

名前

鈴木翡翠先生

学生書道コンクール課題（6月14日締切）

中1

ど 今日、汗ばむ一日でした。今日は木陰が恋しい。ほ

中1~中3

中2

洗新 洗われる季節となった。新緑がまぶしい。心の

青柳江

中3

が、科学力で生命の不思議が、かなり解明された。

雲先生

小1・幼年用

校名

名前

ほし

鈴木蕙先生

小1・幼年

へん おおきく、はっきりと。じんじをしよう。

小1~小3

小2

とう 花だんのバラに、てんとう虫がとまった。

齋藤翡翠

小3

気空 空に、こいのぼりが元々よくおよいでいる。

流先生

小4

う 晴れた空に、白い雲がかんでいます。

小4~小6

小5

しい わか葉のかがやきが美しい季節になった。

鈴木蕙

小6

いな 野原一面、黄色いきれいな花がさいている。

翠先生

学生書道コンクール課題 (6月14日締切)